

# 川越町地域公共交通の利用意向調査

## 報 告 書

令和6年2月

川 越 町

# 目 次

<b>序 章 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
(1) 調査の目的 .....	1
(2) 調査の概要 .....	1
(3) 報告書の見方 .....	1
<b>第1章 回答者のプロフィール</b> .....	<b>2</b>
(1) 性別 .....	2
(2) 年齢 .....	2
(3) 居住地 .....	3
<b>第2章 移動手段について</b> .....	<b>4</b>
(1) 日常的な交通手段 .....	4
(2) 自動車の運転免許証の保有状況 .....	5
<b>第3章 のりあいタクシーの利用状況について</b> .....	<b>6</b>
(1) のりあいタクシーの利用状況 .....	6
(2) 利用していない理由 .....	7
<b>第4章 今後の地域交通サービスの意向について</b> .....	<b>8</b>
(1) 今後の地域交通サービスの意向 .....	8

---

---

## 序 章 調査の概要

---

### (1) 調査の目的

本町では新たな公共交通として、のりあいタクシーの実証実験を令和5年10月から12月の3か月間実施しましたが、今後の川越町の公共交通を検討する上で、今回ののりあいタクシーの乗車の有無や日頃の移動手段、今後の交通サービスの意向を把握するためのアンケート調査を実施しました。

### (2) 調査の概要

本調査の概要は、以下に示すとおりです。

- 調査対象：町内在住の65歳以上の者
- 調査方法：無作為抽出による郵送配付・自治会長等への配付、郵送での回収
- 調査時期：令和5年11月30日（金）～12月31日（日）
- 配布数：120票
- 回収数：98票
- 有効回収数：98票
- 有効回収率：81.7%

### (3) 報告書の見方

- 図中の構成比（％）は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、複数回答はもちろんのこと、単数回答の場合でも必ずしも合計は100.0%になりません。
- 表、グラフ等の見出し及び文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。
- グラフ内の「n＝〇〇」は、その回答母数を表わしています。

## 第1章 回答者のプロフィール

### (1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。

◆男性 50.0%、女性 50.0%となっています。

○回答者の性別をみると、「男性」が 50.0%、「女性」が 50.0%と、男女比が同率となっています。

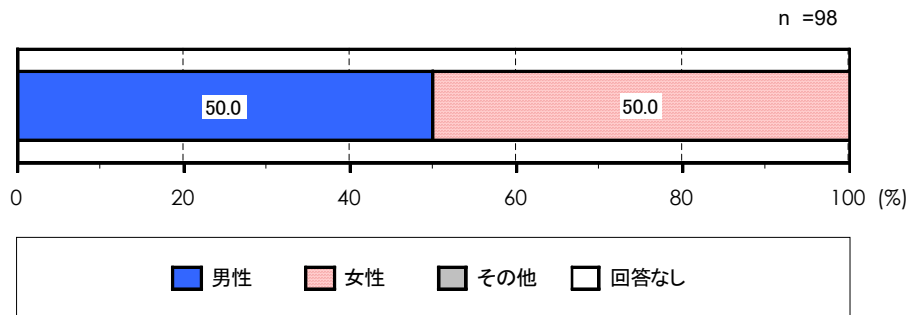


図 1-1 性別

### (2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。

◆回答者は 70～74 歳が 39.8%、75～79 歳が 29.6%と、70 歳代が 69.4%を占めています。

○回答者の年齢をみると、「70～74 歳」が 39.8%で最も割合が高く、次いで「75～79 歳」(29.6%)、「65～69 歳」(25.5%)、「80 歳以上」(5.1%) となっており、多くが 70 歳代となっています。

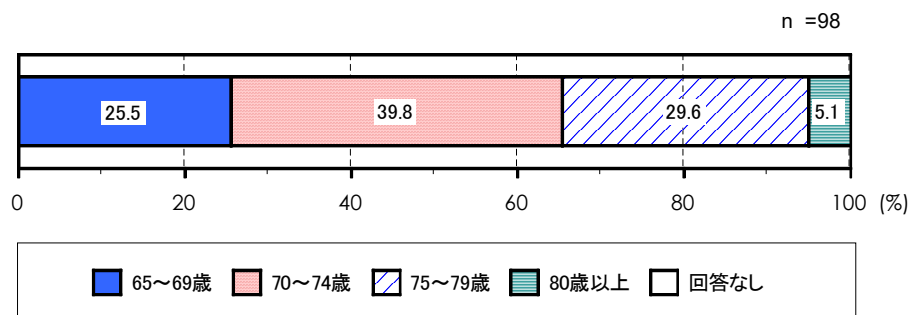


図 1-2 年齢

(3) 居住地

問3 あなたが住んでいる地区名をお答えください。

◆豊田一色地区、南福崎地区、高松地区が多くなっています。

○回答者の居住地区をみると、「南福崎地区」が21.4%で最も割合が高く、次いで「高松地区」(17.3%)、「豊田一色地区」(15.3%)、「豊田地区」(14.3%)、「天神地区」(11.2%)と続いています。

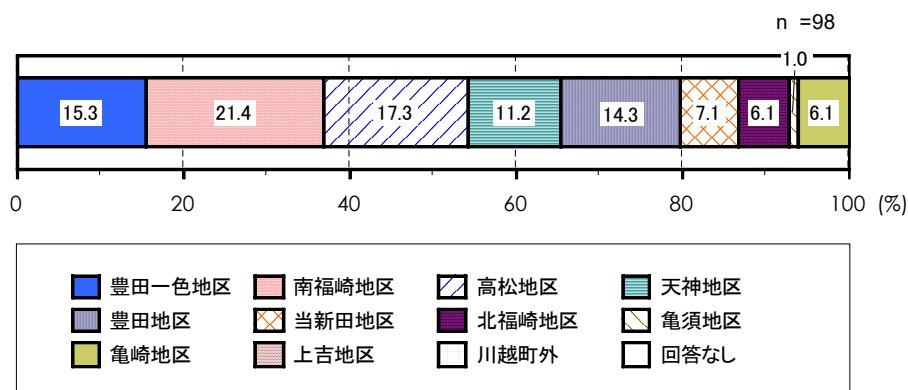


図 1-3 居住地

## 第2章 移動手段について

### (1) 日常的な交通手段

問4 あなたが日常的に利用している交通手段で、あてはまるもの全てに○を付けてください。

◆日常的に利用する交通手段は、自家用車が81.6%を占めています。次いで徒歩、自転車が多くなっています。

○日常的に利用している交通手段は、「自家用車」が81.6%で最も割合が高くなっています。次いで「徒歩」(45.9%)、「自転車」(28.6%)、「鉄道」(15.3%)、「家族の車(送迎)」(14.3%)と続いており、「ふれあいバス」は5.1%、「タクシー」は4.1%と低くなっています。  
○なお、その他としては「社用車」(1人)となっています。

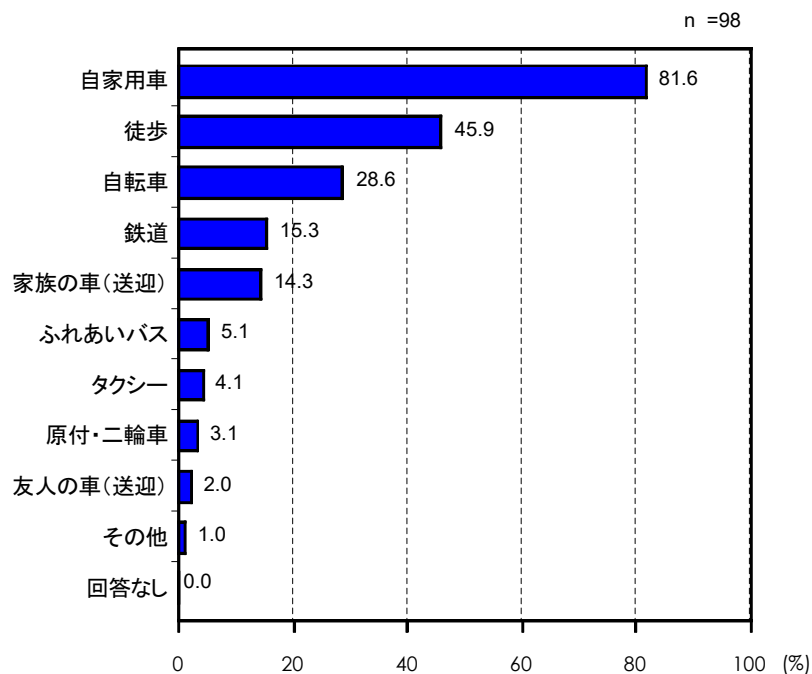


図 2-1 日常的な交通手段

(2) 自動車の運転免許証の保有状況

問5 あなたは自動車の運転免許証を持っていますか。

◆運転免許証を持っている方が85.7%を占めています。

○自動車の運転免許証の保有については、「持っている」が85.7%、「以前持っていたが返却した」が6.1%、「もともと持っていない」が7.1%となっており、運転免許証を持っている方が多くなっています。

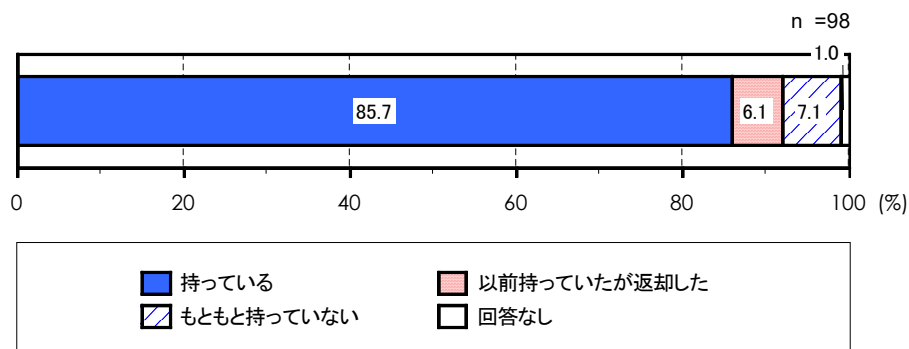


図 2-2 自動車の運転免許証の保有状況

### 第3章

## のりあいタクシーの利用状況について

### (1) のりあいタクシーの利用状況

問6 10月から町では「のりあいタクシー」の実証実験を行っていますが、利用したことはありますか。

◆のりあいタクシーを利用した方は2人のみとなっています。

○のりあいタクシーを利用したことがある方は2.0%（2人）となっており、ほとんどの方が利用していない結果となっています。

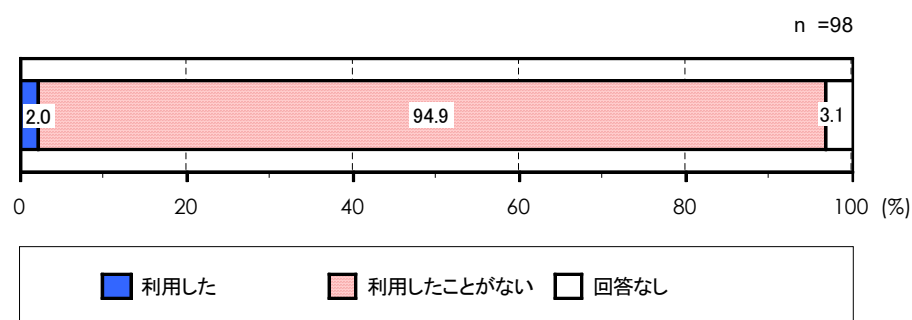


図 3-1 のりあいタクシーの利用状況



(2) 利用していない理由

問7 問6で「2.利用したことがない」と回答した方へおうかがいします。  
のりあいタクシーを利用していない理由をお聞かせください。あてはまるもの全てに○  
を付けてください。

◆利用していない理由は、「自家用車や家族の送迎で十分のため」が最も多くなっています。また、「徒歩や自転車で十分のため」、「利用方法がわからないことや予約が面倒なこと」、「時間や行き先が限定されること」、「そもそも運行していることを知らない」などとなっています。

○問6で「2.利用したことがない」と回答した93人が、のりあいタクシーを利用していない理由としては、「自家用車や家族の運転（送迎）で十分のため」が75.3%で最も割合が高くなっています。次いで「徒歩や自転車などで十分のため」（18.3%）、「どのように利用して良いかわからないため」（17.2%）、「利用時間が限定されているため」（17.2%）、「のりあいタクシーが運行していることを知らないため」（15.1%）、「予約などが面倒なため」（14.0%）、「行先が限定されるため」（14.0%）と続いています。

○その他については、「自宅前で乗り降りできれば良い」、「自分で運転してどこへでも行ける」となっています。

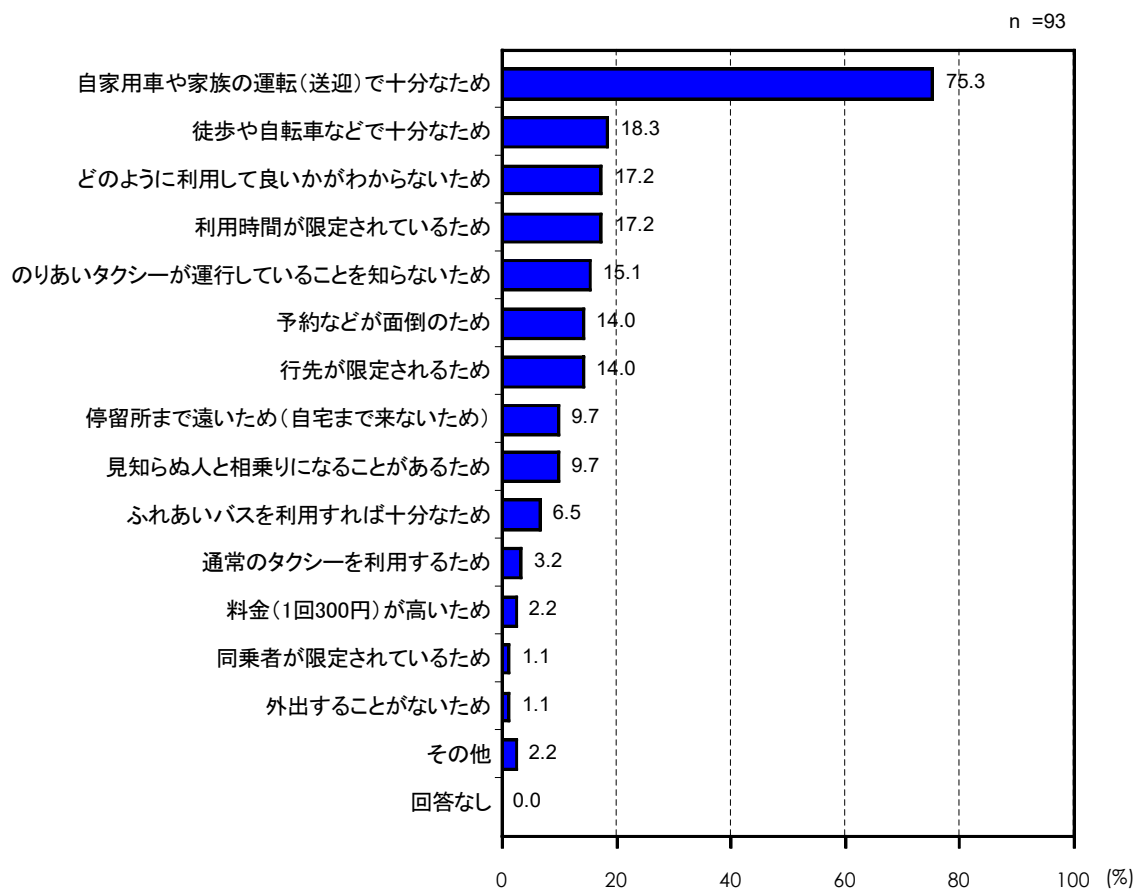


図 3-2 のりあいタクシーを利用していない理由

## (1) 今後の地域交通サービスの意向

問8 町民の移動手段を確保するための地域交通サービスとして、町としてどのようなことに取り組むべきだと思いますか。あてはまるもの全てに○を付けてください。

◆今後の地域交通サービスとしては、「ふれあいバスの継続運行」、「有料のコミュニティバスの運行」への意向が高くなっています。

- 今後の地域交通サービスについては、「現在も運行している無料の「ふれあいバス」を継続して運行する」が39.8%で最も割合が高くなっています。次いで「有料でも良いので、もっとバスの路線、便数などを増やしたコミュニティバスを運行する」(35.7%)、「今回の「のりあいタクシー」を継続して運行する」(24.5%)、「利用回数に制限はあるが初乗り料金を補助する「タクシーチケット」を配付する」(24.5%)となっています。
- なお、その他として、「もう少し継続して、その後考えてみる」、「のりあいタクシーは継続してほしいが、下車する場所を決めずに町外にも行けるようにしてほしい」、「ふれあいバスの停留所が西の方にもほしい」、「必要としない」などの意見がありました。

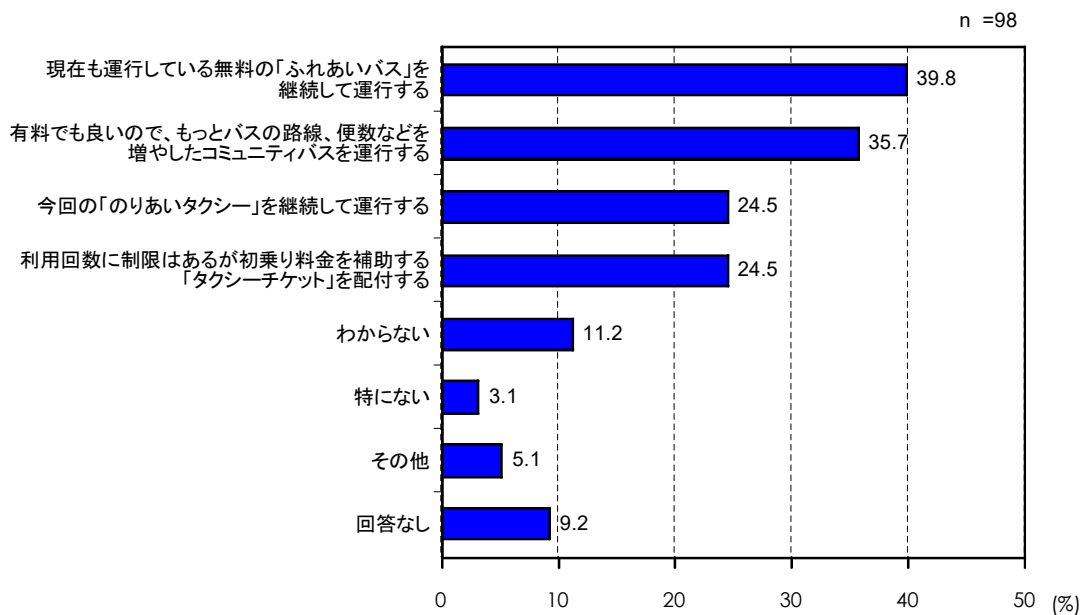


図 4-1 今後の地域交通サービスの意向

---

**川越町地域公共交通の利用意向調査 報告書**

**令和6年2月**

発行／川越町役場 企画情報課

TEL 059-366-7112 FAX 059-364-2568

E-mail : k-kikaku@town.kawagoe.mie.jp